



## 2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年7月15日

上場会社名 RPAホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6572 URL http://rpa-holdings.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 知道  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松井 哲史 TEL 03 (5157) 6388  
 四半期報告書提出予定日 2021年7月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第1四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	3,693	19.0	368	22.7	172	46.1	166	50.0	48	69.5
2021年2月期第1四半期	3,102	46.1	300	16.6	118	△30.3	110	△11.7	28	△44.3

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 48百万円 (69.5%) 2021年2月期第1四半期 28百万円 (△44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	0.81	0.76
2021年2月期第1四半期	0.49	0.44

※ EBITDA(経常利益+減価償却費+のれん償却額+支払利息)

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第1四半期	18,774	13,210	70.3
2021年2月期	18,538	13,142	70.9

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 13,205百万円 2021年2月期 13,136百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,030	4.5	660	12.7	280	29.3	265	36.2	70	△1.6	1.19
通期	12,500	11.5	1,500	11.4	730	37.1	710	36.0	270	—	4.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期1Q	61,780,500株	2021年2月期	58,596,500株
② 期末自己株式数	2022年2月期1Q	－株	2021年2月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期1Q	59,831,370株	2021年2月期1Q	58,358,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済状況は、新型コロナウイルス感染症の拡大が全世界的に猛威を振るい、依然として厳しい状況が続いています。新型コロナウイルス感染症に対するワクチンの接種の進展による収束が期待されているものの、新たな脅威と成り得る変異ウイルス等の発生に伴う緊急事態宣言の再発令もあり、国内景気や企業収益に与える影響については依然として先行き不透明な状況です。

こうした環境の中で、当社グループはロボットアウトソーシング事業、ロボットトランスフォーメーション事業の両事業ともに、既存顧客の継続・拡大、及び新規顧客の獲得に注力しました。さらに、新規事業であるRaaS事業の立ち上げに向けた先行投資を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,693百万円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は172百万円（前年同四半期比46.1%増）、経常利益は166百万円（前年同四半期比50.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（前年同四半期比69.5%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ロボットアウトソーシング事業

ロボットアウトソーシング事業においては、「BizRobo!Basic」、「BizRobo!Lite」、「BizRobo!mini」ともに導入企業が拡大し、ストック型のライセンス収入が伸長しました。ストック型のライセンス収入中心の収益構造となり、利益率は改善しセグメント利益を伸ばしました。

その結果、ロボットアウトソーシング事業では、売上高は861百万円（前年同四半期比11.1%増）、セグメント利益（営業利益）は201百万円（前年同四半期比177.9%増）となりました。

#### ロボットトランスフォーメーション事業

ロボットトランスフォーメーション事業においては、金融カテゴリにおいて売上高が大きく伸長しました。一方で取扱高拡大に向けて販売促進費が増加しました。

その結果、ロボットトランスフォーメーション事業では、売上高は2,748百万円（前年同四半期比21.7%増）、セグメント利益（営業利益）は131百万円（前年同四半期比42.3%減）となりました。

#### RaaS事業

RaaS事業においては、汎用ロボットによるサービスを提供するRaaS（Robot As A Service）の本格展開に向けた先行投資を引き続き行いました。

その結果、RaaS事業では、売上高は15百万円（前年同四半期比169.4%増）、セグメント損失（営業損失）は55百万円（前年同四半期は89百万円のセグメント損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は15,547百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加いたしました。これは主にその他の流動資産が245百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円減少いたしました。これは主にのれんが99百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は18,774百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は4,032百万円となり、前連結会計年度末に比べ339百万円増加いたしました。これは主に買掛金が296百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,531百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少いたしました。これは主に社債が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,564百万円となり、前連結会計年度末に比べ167百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は13,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を48百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.3%（前連結会計年度末は70.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月14日の決算短信で公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,405,199	13,404,120
受取手形及び売掛金	1,492,547	1,608,331
仕掛品	9,652	17,629
その他	271,213	517,088
流動資産合計	15,178,613	15,547,169
固定資産		
有形固定資産	134,755	128,921
無形固定資産		
のれん	1,177,588	1,077,722
ソフトウェア	653,453	594,428
ソフトウェア仮勘定	53,140	74,129
その他	72	72
無形固定資産合計	1,884,255	1,746,352
投資その他の資産	1,341,356	1,352,540
固定資産合計	3,360,366	3,227,814
資産合計	18,538,980	18,774,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,000,655	1,296,866
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	244,000	244,000
1年内返済予定の長期借入金	289,029	287,196
未払法人税等	288,564	143,485
賞与引当金	83,268	50,537
変動報酬引当金	72,585	47,443
その他	715,425	963,215
流動負債合計	3,693,527	4,032,743
固定負債		
社債	676,000	576,000
長期借入金	1,027,339	955,540
固定負債合計	1,703,339	1,531,540
負債合計	5,396,866	5,564,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,888,936	5,898,906
資本剰余金	6,025,055	6,035,025
利益剰余金	1,222,858	1,271,504
株主資本合計	13,136,851	13,205,436
新株予約権	5,263	5,263
純資産合計	13,142,114	13,210,700
負債純資産合計	18,538,980	18,774,983

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	3,102,925	3,693,049
売上原価	2,194,801	2,735,030
売上総利益	908,123	958,018
販売費及び一般管理費	789,782	785,173
営業利益	118,340	172,845
営業外収益		
為替差益	—	423
その他	415	61
営業外収益合計	415	484
営業外費用		
支払利息	6,456	6,343
支払手数料	104	218
為替差損	547	—
その他	903	643
営業外費用合計	8,011	7,206
経常利益	110,745	166,123
税金等調整前四半期純利益	110,745	166,123
法人税等	82,051	117,477
四半期純利益	28,694	48,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,694	48,645

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	28,694	48,645
四半期包括利益	28,694	48,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,694	48,645
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボットト ランスフォ ーメーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	775,358	2,258,791	5,913	3,040,064	62,861	—	3,102,925
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,130	1,428	16,763	20,321	7,770	△28,091	—
計	777,488	2,260,219	22,677	3,060,386	70,631	△28,091	3,102,925
セグメント利益 又は損失(△)	72,616	227,539	△89,196	210,959	△876	△91,742	118,340

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,472千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ロボット アウトソー シング事業	ロボットト ランスフォ ーメーショ ン事業	RaaS事業	計			
売上高							
外部顧客への 売上高	861,553	2,748,191	15,934	3,625,679	67,369	—	3,693,049
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,930	4,304	79	6,313	1,230	△7,543	—
計	863,483	2,752,495	16,013	3,631,993	68,599	△7,543	3,693,049
セグメント利益 又は損失(△)	201,798	131,205	△55,138	277,865	△13,714	△91,305	172,845

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、セールスアウトソーシング事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△91,305千円は各セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない連結財務諸表提出会社の一般管理費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。